

当地区における摂食嚥下機能障害者への 取り組みについて

○高田 靖¹⁾・芳賀 定²⁾・大内 ゆかり・中島 陽州¹⁾・中村 全宏²⁾
・山岸 春美³⁾・藤田 まどか

1) 公益社団法人・東京都豊島区歯科医師会, 2) 芳賀デンタルクリニック,
3) 豊島区口腔保健センター・「あぜりあ歯科診療所」

【緒 言】

- 東京都豊島区では豊島区口腔保健センター「あぜりあ歯科診療所」にて平成14年4月より摂食嚥下機能障害者を対象にした専門外来を月に1度（第3火曜日）開設し、主に発達期障害児を対象とした歯科診療に携わってきた。また、平成21年6月より当センターに常勤歯科医師を配置することで中途障害者、特に在宅高齢者や介護施設入所者を対象とした嚥下内視鏡検査を耳鼻科医と連携した体制で行うようになり、区内病院の摂食外来や高次医療機関とも連携体制を構築した。そこで今回、我々は摂食嚥下機能訓練外来が開設されてからの最近5年間の診療実績や地域連携体制の構築等について報告する。

【対象と方法】

- 平成17年度からの5年間の摂食嚥下外来受診者数および常勤歯科医師配置後の嚥下内視鏡検査実施実績等を調査した。

摂食嚥下外来受診者数・嚥下内視鏡検査実施実績

摂食嚥下外来受診者数(毎月第3火曜日実施)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
初診	3	3	1	5	4
延べ人数	33	34	25	47	49

嚥下内視鏡検査実施実績(平成21年7月~平成22年9月)

		人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡検査	平成21年度	実人数	/	/	/	1	1	1	1	1	1	3	0	1	10
	平成22年度	実人数	2	1	0	2	0	4							9

摂食嚥下機能療法外来



摂食・嚥下指導



摂食・嚥下研修会



保護者向け講演会



施設(西部子ども支援センター)への出張
摂食・嚥下指導

在宅・老人介護施設での耳鼻科医との連携による 嚥下内視鏡検査の実施



耳鼻科医師

歯科医師

特養ホームでの嚥下内視鏡検査
の実施

在宅支援診療所・主治医

患者宅での嚥下内視鏡検査の実施

歯科医師

※患者・耳鼻科医師等とのアポイント調整は当センターにて行っている

理学療法士

看護師

栄養士

耳鼻科医師



大学病院との共同診療



当センター歯科医師による間接訓練

大学病院歯科医師による嚥下内視鏡検査



当センターでの相互実習

嚥下内視鏡は東京都歯科医師会からの貸与



VF機器の説明(病院・摂食外来)

口腔機能向上教室



口腔内診査



アセスメント



講義



口腔体操



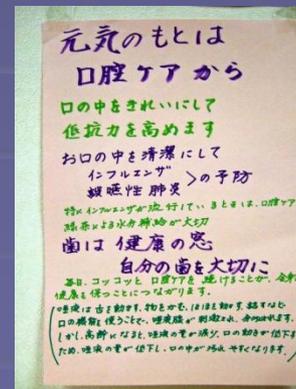
朗読



ストーリーゲーム



口腔ケア実習



施設職員作成



施設職員による
口腔体操

【考 察】

平成21年6月より当センターに常勤歯科医師を配置することで中途障害者、特に在宅高齢者や介護施設入所者を対象とした嚥下内視鏡検査を耳鼻科医と連携した体制で行うようになり、区内病院の摂食外来や高次医療機関とも連携体制を構築した。当センターが窓口となって患者、耳鼻科医、施設などとのアポイント調整などのコーディネート機能を果たすことによって効率良く診療が行われており、これにより、発達期障害者と中途障害者とは指導・訓練のアプローチ方法が異なるが、それぞれのニーズに合わせた対応ができる体制が整った。

【結 論】

検査・指導後の訓練を日常的に行うためには保護者、介護者だけでなくコ・メディカルスタッフへの研修も必要となるため定期的な研修会の実施も必要である。また、高齢者の場合、早い段階からの関与も必要なため、介護予防での口腔機能向上にも取り組む必要がある。豊島区でも高齢者人口は増加傾向にあり、発達期障害者よりも中途障害者のニーズが高まることから介護予防の段階からの摂食嚥下機能の維持に関わり、シームレスな対応ができる環境整備が必要であると考えられた。